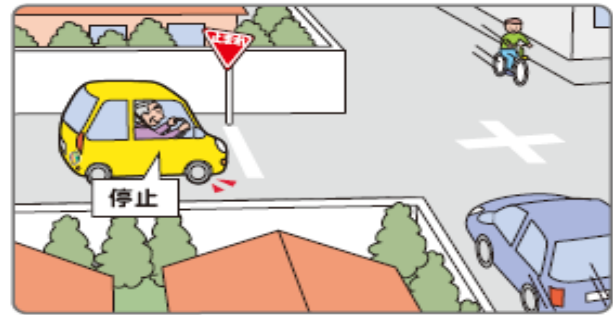
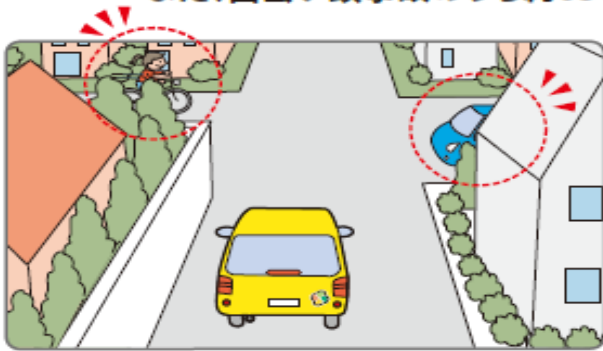


答え
1

「徐行」や「一時停止」でしっかり安全確認!

高齢ドライバー(65歳以上)の事故の約3割が出会い頭事故です。
また、出会い頭事故のうち約65%は信号の無い交差点で発生しています(※1)。



1 見通しが悪ければ、徐行が必要。

見通しが悪い交差点では左右の安全を確認し、車や歩行者に注意しながら、すぐ停止できるような速度で進みましょう。

2 一時停止の交差点では、しっかり停止!

一時停止の標識があるときは停止線の直前(停止線がないときは交差点の直前)でしっかり停止しましょう。

※1 出典:(公財)交通事故総合分析センター「イタルダイナモフォーメーション No.119」より

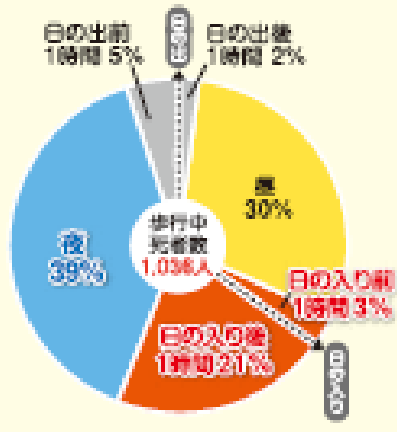
- 6割以上の高齢ドライバーが停止線で正しく停止できていません
- 一時停止の場所では、多段階停止を心がけてください
- 交差点の見落としにも注意してください
- 「相手が譲ってくれるだろう」ではなく、相手に譲る意識が大切です

答え
2

身を守るのは「安全確認」と「反射材」

高齢者(65歳以上)の歩行中死者の約7割が夕暮れと夜間に交通事故に遭っています。

対車両の高齢者歩行中死者数
(第1・第2当事者)(※2)



※2 出典:2015年中の警察庁統計より



※3 この数値はJISマークの付いた製品によるもので、面積2.5cm²の反射材117mm²/kg以上の反射材を使用

反射材は交通事故防止に有効です

車のライトがついていても、ドライバーから歩行者が見えているとは限りません。道路横断時の安全確認徹底に加えて、反射材を靴の側面やかかと、杖などに付け、自分の存在を車にアピールしましょう。

- 道路を横断する場合は、横断歩道を横断してください
- 斜め横断は危険です
- 横断する場合は、左右、特に左側から走ってくる車に注意してください
- 信号機のない横断歩道では、大人も子供も手をあげて、横断する意思を示しましょう